

津和野町木部地区

中世津和野発祥の地、木部地区。
次世代の参画を見据えて、
まちづくり計画の作成を目指す。



地区の概要（特徴と課題）

- ・津和野町の中心部までは車で約20分の距離にあり、地区を南北に県道17号線が走り、県道沿いに集落が分布する。
- ・地区には保育園が1園、小学校が1校ある。中学校はなく、生徒は津和野町の中心部にある津和野中学校に通学する。
- ・地区では稲作が盛んであり、地区内に農事組合法人が6法人ある。またH21年12月には津和野町内の農事組合法人11法人(現12法人)が構成員であるわくわくつわの協同組合を設立し、地区内に事務局が設置され、燃油の共同購入・配達、受託事業、UIターン研修生の受入等も行っている。
- ・中世の頃、吉見氏が最初に住んだ場所が木部地区であり、中世津和野発祥の地とされている。
- ・H24年8月にまちづくり委員会が立ち上げられており、H25年度より本格的な地域づくり活動が展開され、H31年度までにまちづくり計画の作成を目指す。

これまでの活動の経過

平成27年度～平成29年度の事業	地域住民交流活動	地区民体育大会 / ソフトボール大会 / ごうた祭り / バレーボール大会 / 地区文化祭 など
	地域活性化事業	外部・内部から講師を招いた地域連携、先進事例等の研修会、また、UIターン者との意見交換会等を開催し、地域への将来像への足固めを図る。
	地域環境美化活動	木部地域の中川に「つわの暮らし推進住宅整備事業」によって、3戸の住宅が建設されたため、この建設に併せ、周辺的环境整備として竹藪を伐採し桜の植樹を実施。
	地域福祉・児童育成事業	①毎週火曜日に益田市へ商品の仕入れに行き、地域内の商店へ配送。お盆、正月前には、特別日として配送。 ②木部小学校の児童を対象に4泊5日の通学合宿を実施。
	教育・文化事業	文化財である岡熊臣宅・竹原宅住宅を後世に残すため、屋根等の修繕。 伝統芸能である地芝居・神楽・田植囃の維持保存。
	防災・防犯事業	木部小学校児童が行う、毎月1回の全校一斉徒歩下校に協力し、ともに歩く。 春・秋の交通安全推進運動期及び毎月の初日には、街頭指導。
	交通安全事業	高齢者の交通安全を主として、島根県警が行う「はつらつモデル地区」の指定を受け、地域の交通安全に取り組んでいる。

主要推進組織 『木部地区まちづくり委員会』



交通安全看板作り



通学合宿



田植ばやし



すごうた祭り

第1回 まちづくり勉強会

- ・木部地区の人口推計
- ・「小さな拠点づくり」とは
- ・航空写真でのワークショップ



地元学in木部

[第2回まちづくり勉強会として]

- ・木曽野コース
- ・豊稼コース
- ・四本松コース
- ・とっておきコース
(木部小学校6年生の水津さんが案内人)



今後の活動計画と展望

- ・まちづくり委員会の地域づくり活動をさらに発展させるため、下部組織として事業内容に応じた部会等を設置する等、より実効性の高い組織体としていく。
- ・中長期的な地域づくり活動を展開させるため、次世代を担う地域リーダー・後継者を養成し、活動への参加を促す。
- ・H28年度末に完成した「つわの暮らし推進住宅(3棟)」の入居者を受け入れるため、受け入れ体制・周辺環境を整備する。
- ・買い物不便者の状況を調査の上、状況に応じた支援体制・運営を検討する。



地域の若者たちとの意見交換会を開催